

アリーナ整備に向けた調査・研究事業について

1 調査概要

県内外から多くの人を誘客し、宿泊者数の増加や地域経済の活性化へと繋げる「目指すべきアリーナ像」を具体化するため、類似施設の状況やアリーナの好事例をもとに、求められる規模や機能、その他有効な附帯施設などについて調査・研究する。

2 目指すべき姿（ビジョン・コンセプト）

- ①「本物」を体感し、徳島に新たな豊かさを生むアリーナ
- ②徳島のまちに新たな賑わいと活力をもたらすエンジン
- ③県民の豊かな日常を支える拠点
- ④県民に愛される徳島のまちのシンボル

3 想定される主要事業・利活用シーン

- ①新たなスポーツ体験シーンの創出
- ②多様な「非日常」エンターテインメントシーンの共創
- ③県民の日常を「彩る」様々な滞在・体験シーンの創出
- ④アリーナを核としたビジネス・投資の拡大と企業・団体間協働の核

4 期待される機能と必要な施設・諸室・設備要件**（1）基幹機能**

全 体 規 模：建築面積10,000㎡～15,000㎡程度
メインアリーナ：「すり鉢状」の客席構造・勾配
収 容 人 数：5,000人～10,000人
ホスピタリティ：スイート・ラウンジの設置
床 仕 様：一定重量の搬出入への耐性の確保

（2）付加価値機能

飲食・物販施設：地元の飲食物等が体験可能なカフェテリア施設との複合
オープンスペース：賑わい創出に資するイベント開催が可能な規模のスペース確保

5 スケジュール

調査・研究の結果については、取りまとめしだい県ホームページで公表する。
※委託契約期間は令和 6 年 6 月末まで。

目指すべき姿（ビジョン・コンセプト）

■ 「『県都とくしま』のまちづくりの核となるアリーナの実現を目指し、「目指すべきアリーナ」のコンセプトを以下のように設定しました。

「本物」を“体感”し、徳島に新たな豊かさを生むアリーナ

■徳島に新たなスポーツ「体感」機会を創出

- 全国大会等のトップアマチュア利用の受け皿としてのみならず、新B.LEAGUEやS.V.LEAGUEをはじめとした、新たな時代・次の時代のプロスポーツの価値を最大限に“体感”でき、徳島に新たなスポーツ体験機会を創出可能な機能を備えたアリーナ。

■徳島の生活に多様な「非日常」を創出

- 民間のノウハウの最大限活用や、団体間連携を通じ、県内既存施設では展開ができなかった多様なエンターテインメントコンテンツを実践・提供し、徳島の生活に新たな余暇・レジャー機会を創出するアリーナ。

徳島のまちに新たな賑わいと活力をもたらす“エンジン”

■中心市街地の地域経済・活力再活性化の起爆剤

- 県内既存施設では実現できない新たな非日常的なスポーツ・文化体験シーン等の創出を通じ、域内外からの交流人口の増加をもたらす、徳島のまちに新たな賑わいをもたらすアリーナ。
- 来訪者に対し、アリーナ内外で徳島ならではの「モノ・コト・トキ」消費体験を促し、周辺地域経済への還元と活性化に貢献するアリーナ。

■アリーナを核とした経済の好循環の創出

- 新たな「広域誘客拠点」としてのアリーナの整備・位置づけ・運営を通じ、周辺地域への投資の呼び込みや雇用創出を促し、徳島の持続的成長を支えるアリーナ。

県民に愛される徳島のまちの“シンボル”

■アリーナを核とした団体間連携・協働の場

- アリーナやその周辺地域をフィールドに、クラブ、運営事業者、スポーツコミッション、行政、企業、団体、県民などとの団体間連携・協働を通じた、様々な事業実践の核となるアリーナ。

■徳島への愛着・誇りを育む場

- 「徳島ガンバロウズ」のホームアリーナとして、「徳島ガンバロウズ」をはじめとするプロスポーツチームとの触れ合いのみならず、県民とアリーナの様々な接点の創出を通じ、県民のアイデンティティの醸成と愛着の向上（シビックプライドの育み）に貢献するアリーナ。

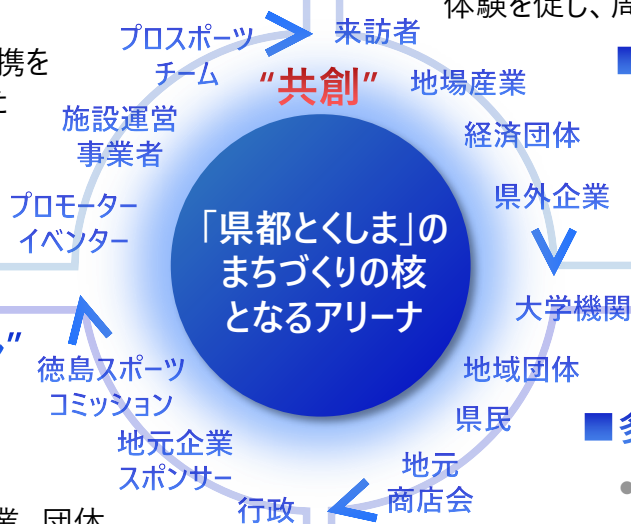
県民の豊かな日常を支える“拠点”

■多様な滞在・体験を促す“居場所”空間

- 附帯機能やオープンスペースの積極的な活用等により、試合・興行日以外でも県民が気軽に来訪でき、様々な憩い・集いや、気軽な「する」スポーツなどの機会を生み出す、“居場所”としてのアリーナ

■有事への対応に備えた“コミュニティ”空間

- 災害時の避難所拠点としての機能を具備し、有事に対応できる施設として位置づけるとともに、県民の日常に溶け込む様々な来訪シーンを促すことで、平時からの防災・減災の取組に貢献するアリーナ。



想定される主要事業・利活用シーン

■「目指すべきアリーナ」のコンセプトの実現のため、以下の主要事業・利活用シーンの展開・創出を目指します。

1 新たなスポーツ体験シーンの創出

“新たな時代”・“次の時代”のプロスポーツを『体感』

■屋内スポーツの国内主要トップリーグの最高水準への対応による、県内・四国圏随一の「スポーツエンターテインメント空間」としての活用

- B. LEAGUE PREMIER（「新B1」）／S.V. LEAGUE（「新V1」）等

■県ゆかりのプロスポーツを間近で「みる」「触れ合える」機会の創出

- 「徳島ガンバロウズ」（現B3）や「ジェイテクトSTINGS」（現V1）のホームゲーム開催地として、県民が間近で徳島ゆかりのプロスポーツを「みる」機会や、プロスポーツ選手と「触れ合える」機会を創出し、県内外からの交流・関係人口の創発に寄与します。

▼徳島ガンバロウズホームゲーム@アスティとくしま



(出所)徳島ガンバロウズHP



(出所)徳島新聞記事



(出所)徳島新聞記事

▼ファン・地域住民との交流事業

ジェイテクトSTINGSホームゲーム @とくぎんモントアリーナ▲

■各種プロスポーツ興行の誘致による「みる」スポーツ文化のアップデート

- 国内各種トップリーグマッチや国際的なスポーツイベント等を誘致・開催に取り組み、これまでにない新たな「スポーツエンターテインメント」としての県民の「みる」スポーツ機会の提供・アップデートを目指します。

▼T. LEAGUE（卓球）



(出所)（株）卓球王国HP

▼F. LEAGUE（フットサル）



(出所)F. LEAGUE公式HP

▼国際的スポーツコンテンツの誘致



県スポーツ推進の“核”となるトップアマチュアの『ハレ』の場

■四国・全国大会等の広域大会の誘致・開催による、新たなアマチュアスポーツシーンの創出

- 競技団体との連携を通じ、県内既存施設では誘致が難しい各種屋内競技（武道を含む）の広域大会の誘致・開催を目指します。
- 引き続き市民・県民の重要な日常的なスポーツ活動拠点としての役割を果たす県内既存体育施設との適切な役割分担を図ります。

▼（例）ハンドボール全日本選手権@カメイアリーナ仙台



(出所)読売新聞記事



(出所)毎日新聞記事



(出所)四国新聞記事

▼（例）四国高校新人大会

（例）全日本学生剣道優勝大会@Asueアリーナ大阪▲

■県スポーツ推進の「シンボル」・県内アスリートの「憧れの舞台」として

- 県予選の会場等にも供用し、県内既存体育施設の補完機能を果たすとともに、中高生などの県内アスリートにとって“憧れ”の舞台として「スポーツエンターテインメント空間」を提供し、県アスリートの競技力・モチベーションの更なる向上とスポーツ人口増を目指します。

▼ハンドボール全国選抜予選



(出所)徳島新聞記事

▼中学総合体育大会徳島県予選



(出所)徳島新聞記事

想定される主要事業・利活用シーン

■「目指すべきアリーナ」のコンセプトの実現のため、以下の主要事業・利活用シーンの展開・創出を目指します。

2 多様な「非日常」エンターテインメントシーンの“共創”

「徳島ならではの」エンターテインメント発信拠点

■県内企業・団体間連携による多様な文化エンターテインメントの展開

- 徳島のもつ豊かな「文化資源」（伝統／観光／産業／歴史／食等）を活かしつつ、県内外のニーズを把握しながら、企業・団体間連携を通じ、「徳島ならではの」魅力ある新たなエンターテインメントコンテンツの企画・造成に取り組み、新たな余暇・レジャーを体感できる、新たな“ユニークベニュー”としての活用を目指します。

例）伝統文化の発信の場として

▼佐賀県伝承芸能祭@SAGAアリーナ



(出所) 佐賀新聞記事

▼阿波踊りイベント@アスティとくしま



(出所) 徳島市観光HP

例）産業・技術の発信の場として

▼広島輸入車ショウ2023@広島グリーンアリーナ



徳島ビジネスチャレンジメッセ@アスティとくしま▲

例）観光・賑わいコンテンツの場として

▼オクトーバーフェスト@アオーレ長岡



▼中四国フードコンベンション@エバンクス岡山



徳島のエンターテインメントコンテンツの強化・魅力化

■県内既存施設では取り込めなかったスポーツ・文化エンターテインメントコンテンツの誘致・開催

- 「アスティとくしま」をはじめとする県内既存施設では誘致・開催が困難なスポーツ・文化エンターテインメントコンテンツの誘致・開催を目指し、新たな余暇・レジャーコンテンツの造成を企図するとともに、県外からのより多くの来訪・滞在を呼び起こす「誘客拠点」としての更なるポテンシャル向上を目指します。

誘致・開催が考えられるスポーツ・文化エンターテインメントコンテンツ例

※下記は例であり、今後、県内外の関連事業者等へのサウンディング調査結果を踏まえ、誘致・開催の可能性・ポテンシャルについて客観的に検討

▼有名アーティストによるアリーナコンサート



(写真)三代目 J Soul Brothers from EXILE TRIBE



(写真)JO1

▼多様な文化系エンタメコンテンツ



(写真)松平健・コロッケエンタメ魂 スペシャル
@沖縄アリーナの様子

▼見本市・展示会利用



(写真)広島グリーンアリーナにおける展示会の様子

“団体間協働”

主体的なコンテンツの造成（※誘致）

運営事業者

イベント
プロモーター

観光協会

中間組織
(スポーツコミッション
等)

県内企業
関連企業

行政

想定される主要事業・利活用シーン

■「目指すべきアリーナ」のコンセプトの実現のため、以下の主要事業・利活用シーンの展開・創出を目指します。

3 県民の日常を「彩る」様々な滞在・体験シーンの創出

多世代の来訪・滞在・交流をいざなう“場所”の創出（「プレイスメイキング」*）

*：単なる空間としての場（「スペース」）を、来訪者にとってより居心地がよく、賑わいが生まれ、周辺地域も含む空間の価値や生活の質が向上する「場」（プレイス）とするための取組のこと

■気軽に身体を動かすことができる空間の有効活用

- 県民が気軽にアリーナを訪れ、軽スポーツやレクリエーションなど、様々なアクティビティ・プレイ（遊び）に親しむことができ、日常的・余暇的な「する」スポーツの活動拠点として、また、興行日以外の人の交流を創出できるような空間の有効活用を目指します。

アリーナ空間のデザイン・有効活用例

▼3on3がプレイ可能なオープンスペース



▼子どもの遊び場（プレイグラウンド）



▼オープンスペースを活用した健康×運動イベント



▼興行/非興行日を問わず利用可能なサブアリーナ機能



■様々な滞在目的に対応した附帯・付加価値機能・スペース活用

- オープンスペースの積極活用、エリアマネジメント事業、飲食・物販機能等を展開し、身体を動かすだけではなく、県民の様々な憩い・集いを促すことができる機能付加・スペース活用を目指します。
- 特に、観光・産業／教育・福祉／コミュニティ／防災など、関連政策分野との連動・連携や、地域課題解決の場としての活用など、多面的なアリーナ空間の活用を目指します。

▼キッチンカー出店等によるマルシェ・野外飲食フェスの開催



▼飲食・物販機能（例：ホームチームグッズショップ）の併設による新たな滞在シーンの創出



想定される主要事業・利活用シーン

■「目指すべきアリーナ」のコンセプトの実現のため、以下の主要事業・利活用シーンの展開・創出を目指します。

4 アリーナを核としたビジネス・投資の拡大と企業・団体間協働の核

アリーナの安定運営に資する民間投資の呼び込み

■VIP・ホスピタリティエリアの積極活用を通じたビジネスシーンの創出

- 高質な観戦体験環境としてのVIPルーム・ホスピタリティエリア（ラウンジ・スカイボックス）のポテンシャルを活かし、プロスポーツチームのスポンサーや県内企業とアリーナとの接点をつなぎ、深めることで、ビジネスフィールドとしてのアリーナへの投資を促すことを目指します。
 - － 企業主催イベント・会議、交流会、商談会場／福利厚生・エンゲージメント強化活用／観光商材（地場産品等）とタイアップした高付加価値観戦パッケージ（「スポーツホスピタリティ」）等

■アクティベーションフィールドとしてのアリーナ活用

- プロスポーツ興行における基本的なスポンサーシップマーケティング（広告宣伝価値の提供）のみならず、R&D（実証実験／データ活用／新商品開発等）やアウトターマーケティング（プロダクト宣伝）など、スポンサー権の有効活用による事業展開（「アクティベーション」）の場としてのアリーナ活用の可能性を検討し、これまでのアリーナにはみられない、新たな民間投資を促すことを目指します。

スポーツホスピタリティを高めるVIPルームの活用



(写真)SAGAアリーナ

アクティベーションフィールドとしての活用



(写真)ウェンブリースタジアム (英国)



(写真)ウェンブリースタジアム (英国)

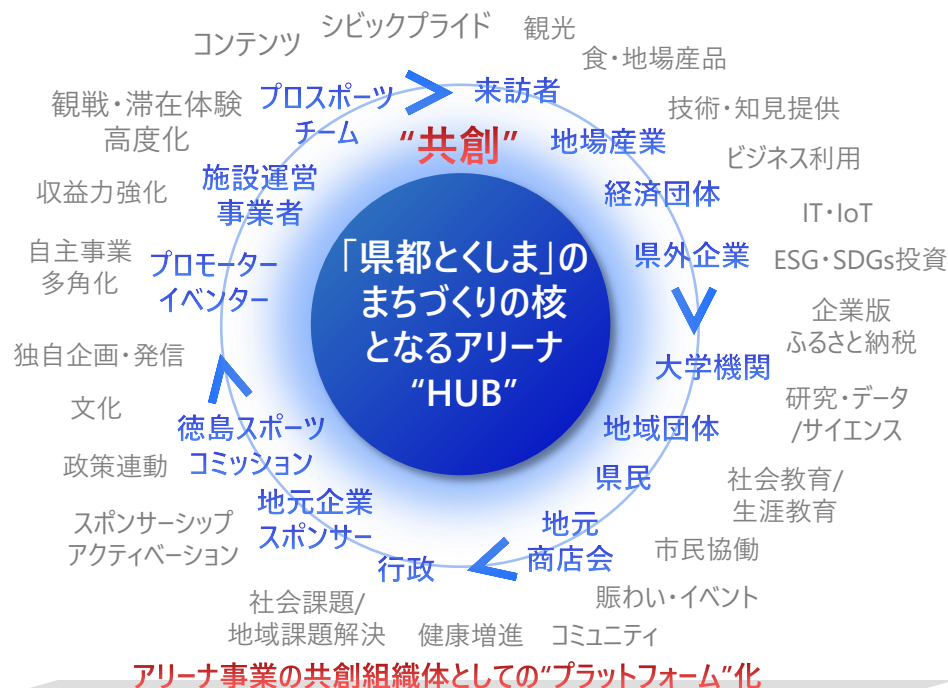


(写真)沖縄アリーナ

アリーナ事業の協働・共創シーンの創出

■アリーナ事業を構成する様々な主体間による連携を強化し、「徳島ならではの」アリーナ像を共に創り上げる

- コンテンツホルダー（プロモーター・イベンター／プロスポーツチーム／その他興行主）やスポンサー、県内外企業、観光・商工、経済団体、中間組織（スポーツコミッション）、大学、行政、住民団体、県民など、アリーナにおける様々な事業を展開しうる主体間の連携・ネットワークを強化し、「徳島ならではの」アリーナ事業を展開し、より多くの共感を得られるアリーナ像の「共創」を目指します。



期待される機能と必要な施設・諸室・設備要件

■ 主要事業・利活用シーンの展開・創出のため、以下の機能とそれに基づく施設・諸室・設備等の要件を検討します。

期待される機能	必要な施設・諸室・設備と主要要件	
【基幹機能】 「スポーツエンターテインメント空間」としてのアリーナ機能	全体規模	✓ 建築面積：最低10,000㎡～15,000㎡程度 + αを想定（※ボリュームスタディの精査が必要）
	メインアリーナ	✓ バスケットボール・バレーボールの国際大会基準を満たした面積及び天井高を設定 ● 例）オープンハウスアリーナ太田：2,140㎡・12.5m／ゼビオアリーナ仙台：2,170㎡・20m ✓ より臨場感を感じられるような「すり鉢状」の客席構造・勾配
	観客席・収容人数	✓ 少なくとも「新B1」（B.LEAGUE PREMIER基準）の下限である5,000人以上収容を想定 ✓ コンサート・ライブ等利用時を想定した最大収容人数を設定。現時点では、10,000人を最大とし、想定需要・市場ポテンシャル、候補地との適性等を考慮し適正規模を検討
	ホスピタリティ	✓ スイート（VIPルーム・スカイボックスシート）及びラウンジを設置し、飲食の提供を可能とする ● 試合観戦前後の非日常体験を提供する「スポーツホスピタリティ」への活用にも対応する ✓ 「新B1」基準に基づいた席数・収容数を設定（入場可能数の2％・5％） ✓ アリーナ来訪者を対象に飲食の提供が可能な専用スペースを設置
	床仕様	✓ コンサート・ライブ等の利用可能性も想定しつつ、一定重量の搬出入への耐性を確保 ● 例）コンクリート床 + スポーツ利用（B.LEAGUE等）に対応可能なポータブルフロアの具備 ● 例）ゼビオアリーナ仙台・SAGAアリーナ・沖縄アリーナ：11tトラックが直接搬出入可能
	映像・情報開示 / 照明・音響等	【映像・情報開示】 ✓ 360°対応センタービジョン、リボン・壁面ビジョンなど、演出効果を高める設備の適切配置を検討 ✓ 場内各地にデジタルサイネージを設置し、試合状況や混雑状況等を伝達可能 【照明・音響等】 ✓ B.LEAGUE基準の示す平均照度（1,400ルクス～2,000ルクス以上）や音響設備を確保 ✓ その他、コンサート・ライブ等エンターテインメント利用に必要な水準を備えた設備（吊物設備等） ✓ コンサート・ライブ利用等の各種エンターテインメント利用を想定し、搬出入口を確保
	諸室	✓ 興行利用に備えた必要数・必要規模の諸室を整備 ● 会議室／更衣室（ロッカー）／控室／多目的室／ドーピングコントロール室／審判控室／各種設備調整室（映像・照明・音響・電気・通信回線等）／チケット販売／器具庫 等 ✓ 観客席・収容人数に対して適切規模のトイレ収容を設備 ● B.LEAGUEホームアリーナ検査要項：入場可能数5,000人超アリーナに対して最低2％

期待される機能と必要な施設・諸室・設備要件

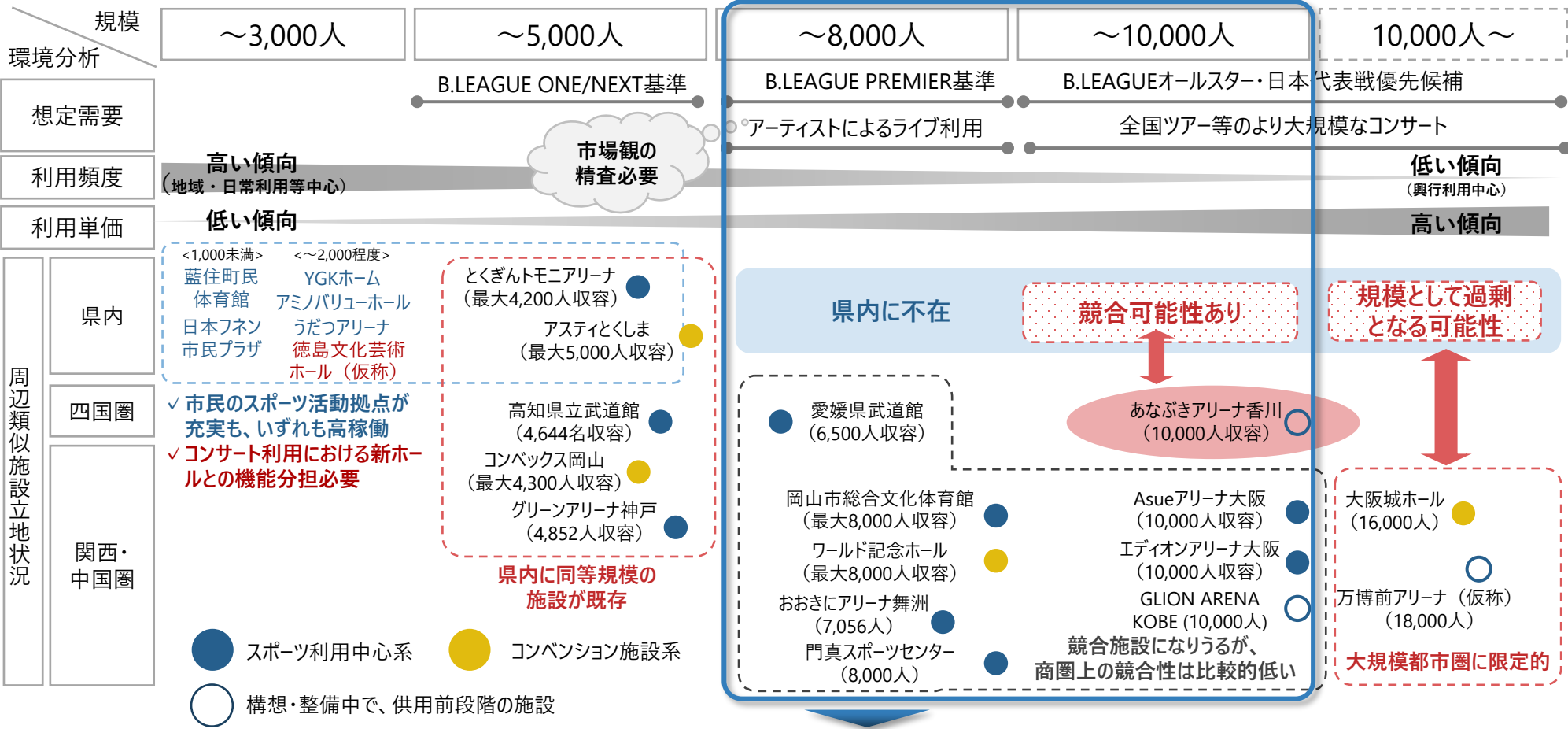
- 主要事業・利活用シーンの展開・創出のため、以下の機能とそれに基づく施設・諸室・設備等の要件を検討します。

期待される機能	必要な施設・諸室・設備と主要要件	
【付加価値機能】 居場所・コミュニティ機能 (アクティビティ/多目的来訪 等)	サブアリーナ	✓ プロスポーツ利用時のアップ会場や武道の全国大会等開催時会場、地域利用を想定した適正規模を検討 ● 例) オープンハウスアリーナ太田：約630㎡／沖縄アリーナ：約860㎡
	飲食・物販施設	✓ 地元の飲食物等が体験可能なカフェテリア施設との複合 ✓ プロスポーツチームの公式グッズの購入や地元産品等購入が可能な物販施設との複合
	IT・IoTインフラ	✓ 高速Wi-Fi環境の整備等、来場者へのホスピタリティ向上に資するICT技術の活用検討
	エントランス オープンスペース	✓ マルシェ・フリーマーケット等の賑わい創出に資するイベント開催が可能な規模のスペース確保 ✓ 3 on 3バスケットコート等来訪者が自由に遊べるスペースのデザイン /等
	防災機能	✓ 地震・風水害時の避難拠点として十分対応が可能な構造（耐震安全性等） ✓ 災害時備蓄庫機能／非常時電源・発電設備等の確保
	その他	【環境配慮】 ✓ ZEBの各種認証（Nearly/Ready/Oriented）等の環境負荷軽減への配慮 【ユニバーサルデザインへの配慮】 ✓ スポーツ庁「スポーツ施設のユニバーサルデザイン化ガイドブック」等を参照し、主要事項に配慮 ● 勾配・サインージデザイン・スペース確保・多目的トイレ・車いす席・補助券同伴席の確保 等

徳島県内及び近隣自治体におけるアリーナ等の状況

■ 本県内外における周辺類似施設の立地状況や、各施設の想定商圏・本県とのアクセシビリティ等を考慮すると、5,000人～10,000人収容のアリーナを検討範囲とし、想定需要・市場ポテンシャル等を加味しつつ、県内既存施設では受容できなかった各種アリーナ需要を取り込み、新たな賑わいのシーンと交流人口増をもたらすことができる適正規模のアリーナが求められると考えられます。

徳島県内及び近隣自治体におけるアリーナ等の状況からみる「目指すべきアリーナ」のターゲット



●本県が「目指すべきアリーナ」のターゲット

- ✓ 5,000人～10,000人程度を収容可能なアリーナを検討範囲
- ✓ アスティとくしま (最大5,000人収容) をはじめとする県内既存施設では受容できなかった各種アリーナ需要を取り込む規模・機能・設備